

中学校区学園化構想第2ステージ検討委員会について

市内小学校及び中学校における教育環境の充実を図り、小中一貫教育の在り方等について協議するため、掛川市中学校区学園化構想第2ステージ検討委員会を立ち上げました。

- (1) 委員人数：14名(有識者、区長会代表、社会教育委員、地域代表、学校関係、保護者など)
- (2) 委員長：武井敦史 静岡大学教授
- (3) 実施回数：会議5回、視察1回 計6回
- (4) 期間：平成28年度

・中学校区学園化構想第2ステージとは

第2次掛川市総合計画基本計画では、以下のとおり述べています。

重点施策3 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

重点プロジェクト3-1 「学びの協働アクションプロジェクト」

9つの中学校区の学園化をさらに進め、小中学校の一貫教育を推進し、地域と一体となって心豊かでたくましい子どもを育成するとともに、子どもの安全な居場所の確保に努めます。

具体的な施策 「教育アクションゾーンのデザイン設計」

中学校区学園化構想第2ステージとして、保幼小中連携と小中一貫教育を推進します。さらに、地域の大人が持っている文化やスキルを子どもたちに伝授するよう、教育環境について研究します。

あわせて、学校が地域の拠点として、学園内の学校以外の施設が持つ機能も果たせるよう、施設の複合化や多機能化についてデザインし、検討します。

また、教育大綱では、子どもたちの未来のために何をすべきか、何ができるのか、という視点にたって、子どもたちの目指す姿を定めています。

これらのことを踏まえて、小・中学校が目指す子ども像を共有し、義務教育9年間を見通した教育課程を編制し、計画的・継続的な学力・学習意欲の向上や、「中1ギャップ」への対応、地域の実状に応じた教育を展開するために、「中学校区学園化構想第2ステージ」として、掛川市ならではの小中一貫教育を研究・推進します。

また、教育アクションゾーンとしての機能を生かせるよう、今後の公共施設のマネジメントを含めて、各地域の実情に応じた最適な学校施設の在り方や、学校の適正規模・適正配置について検討します。

担当 教育委員会教育政策室

電話 21-1109 FAX 21-1222

メール kyoikubu@city.kakegawa.shizuoka.jp